

2024年度保育心理士
資格取得講座

臨床心理学 2

担当 讓西賢 S,Yuzuri

(1)心理発達支援の本質

- (I)こころは、未完成のままに発達する
未完成の気づき：正機ということ
子どもの相(状態・姿)をどのように
捉え、気づくかが支援者の課題
- i)遊びの意義
 - ii)症状(問題行動)の大切さ

(Ⅱ)遊びの意義

①遊びは、子どもの自己表現のための自然な媒体であり、子どもが感情や問題を表出するために与えられた一つの機会である (治療的機能)

V.M.Axline 1947

②遊びは非日常であるから、子どもは自由に自己を表現し、非現実と現実の間の準現実を経て、現実の生活を経験する (社会化機能)

③子どもの遊びは言葉であり、遊具は単語。
子どもは遊びによって、感情・思考・経験を
表現する (言語機能)

④子どもは遊具や遊びを媒介として、他者との
コミュニケーションができる
(コミュニケーション機能)

⑤子どもは、遊びを通して他者との関係を持
続・展開させることができる(人間関係機能)

(Ⅲ)人間の潜在能力

C.R.Rogers 1959

- ①人間は、自己の不適応(自己概念と経験の不一致)を意識の上で経験する能力をもっている。
- ②人間は、自己の不適応から逃れて、自己概念と経験が一致する、より適切な状態へ進んでいく能力をもち、その方向へ進もうとしている。
- ③これらの能力や傾向が顕れていなくても、適切な対応をする人との人間関係のなかで、顕れていないこれら能力や傾向は、顕れてくる。

- ④適切な対応をする人は、関係のなかで自己概念と経験が一致しており、無条件に相手の感情を受容し、共感的に相手を理解することができる。
- ⑤適切な対応をする人は、これらの態度を相手にいくぶんかでも伝えることができる。
- ⑥人間は、この適切な対応をする人との関係のなかで、自己実現への傾向(tendency toward actualization)を発揮することができる。

(IV) 症状(問題行動)の大切さ

① 相互性[mutuality]ということ E.H.Erikson

i) 人間は、社会と相互に影響し合う関係 のなかで発達する。

親は子を育て、子も親を育てる。

保育士は園児を育て、園児も保育士を育てる。

ii) 完璧な人間は存在しない。皆、完成途上にある。

完璧・理想の条件に縛られると、自己否定しかない

iii) 症状(問題行動)が生じて、その子のピンチに気づける。

問題行動への対応による気づきが、保育士を育てる

手のかかる子のお陰様

② 内面の欲求による問題行動(子どもに問題行動はない)

i) 問題行動は大人の視点からの捉え

- ・子どもの欲求と外界・現実とのズレ
- ・子どもの外界への反応
- ・子どもにとっては、誰かへの自然で必然の訴え

ii) 生得的にある欲求のお陰様

- ・快樂原則の欲求があるから、訴えが生じる
- ・欲求を消すのではなく、付き合い方を身につける
- ・その子の内面を満たして外界への適応を目指す

(V)精神的に健康ということ

①欲求階層説

A.Maslow[マズロー]

1908～1970

・人間の欲求は階層を成している。

・低次の欲求から優先して充足される。

成長欲求

自己実現の欲求

自尊(承認)欲求

所属・愛情欲求

安全欲求

生理的欲求

欠乏欲求

外から充足、その都度充足

② 二つの体験

- peak experience (至高体験)

努力・忍耐が報われての成功体験

誰からもよく分かる幸福感

人生に何度もない、短時間の至福感

- plateau experience (高原体験)

日常生活での充実感・幸福感

他者からは、わかりにくい幸福感

毎日継続する幸福感

③遊びの中での欲求表現

- ①子どものなかに欲求があるから、表現されるということ
- ②欲求階層のそれぞれが表出され、満たされないと症状化(問題行動)する
- ③症状化し表現されるから、気づけるということ
- ④発達支援は、社会からの要請に合わせる行動の支援ではなく、その子の内面の欲求が社会志向に変換する支援
- ⑤遊びのなかで、その子の内面(感情)を感じとり受容することが精神的に健康な発達支援

(2) PTG : Post Traumatic Growth

PTG; 心的外傷後成長 Posttraumatic Growth 1996年

R.G.テデスキ Richard G. Tedeschi, L. G.カルフーン Lawrence G. Calhoun

「危機的な出来事や困難な経験の精神的苦悩・
闘いから生ずる肯定的な心理的変容・成長体験」

- ①他者との関係にまつわる人間としての成長
- ②新たな可能性の発見: 社会的な活動の開始
- ③逆境に耐えられる強さの獲得: もう少し耐えて粘ってみよう

- ④精神的なスピリチュアリティ(精神性)への理解の深まり
- ⑤人生に対する感謝といのちの実感:命の大切さや当たり前でないと感じての感謝

☆PTGは、トラウマが生じる前にあった基本的世界assumptive world・中核的信念core beliefが崩されて、人生が根本から変わって本来の自分に戻れたtransformative change実感

☆PTGは、事実の否定・怒り・surviver guiltyなどの葛藤や話すことへの抵抗を、周囲から時間をかけて無条件に受容され、徐々に内面を語ることによって達成される